

びぜんこくぶんしあと
—備前国分寺跡—

りょうぐうざんこぶん
—両宮山古墳—

し せ き
史跡だより 第7号

岡山県赤磐市教育委員会 平成26年10月10日発行

歴史まなび講座
ふるさと歴史セミナー
開 催

国分寺と国府 インタビュー

9月27日に赤磐市立中央公民館において、全国の国分寺などがご専門の島根大学法文学部教授大橋泰夫先生にお越しいただき、「歴史まなび講座・ふるさと歴史セミナー」を開催しました。先生には「国分寺と国府」というテーマでご講演をいただきましたが、その大橋先生に備前国分寺について、インタビューをさせていただきました。



おおはし やすお
講師 大橋泰夫 先生 Dr. Yasuo ohashi

1959年栃木県生まれ。早稲田大学卒業後、財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターに勤務。下野国分寺跡の調査などにたずさわれる。その後、2006年から島根大学にお勤めになられ、古代官衙や寺院について総合的に研究されている。

『下野国分寺跡発掘調査報告書』I～XIV

「国郡制と地方官衙の成立—国府成立を中心に—」など著書多数

国分寺はどうして建てられたのですか？

天平13年(741)に、^{しやうむ}聖武天皇が仏教の力で国を治めていこうと考え、都に東大寺大仏を、全国の国ごとに国分寺の建立を命じました。全国に約60か所もあるのですよ。

全国にたくさんある国分寺ですが、備前国分寺跡の魅力は何ですか？

備前国分寺跡は、私も何回も訪れていますが、寺全体がよく見渡せて、景色もいいですね。発掘調査でいろいろな発見もあり、研究者としても目が離せないところです。

まだ、詳しくわかっていませんが、周辺には国分尼寺や古代山陽道があったはずですので、古代の風景を思い浮かべながら見学しています。



備前国分寺跡の東に両宮山古墳がありますが、何か関係があるのですか？

古墳も国分寺もその地域のいい場所を選んで造られていますので、隣り合わせになったのでしょう。このような事例は下野国分寺などにも見られます。ただ、寺を建設するからといって、それまであった大きな古墳を壊すのではなく、お互いに意識しながら共存していることがすばらしいですね。

全国の国分寺でどこかおすすめのところがありますか？

そうですね。この近くでは^{いずも}出雲国分寺跡（島根県）ですかね。近くに国分尼寺や出雲国府もありますし、資料館（八雲立つ風土記の丘展示学習館）も見学できます。

その他では、^{しもつげ}下野国分寺跡（栃木県）や^{みかわ}三河国分尼寺跡（愛知県）もいいかもしれませんね。三河国分尼寺跡は建物も一部復元されており、資料館もあります。時々催しもしていますし、ボランティアガイドの方もいらっしやいます。機会があれば是非見学していただきたいですね。



整備された三河国分尼寺跡

今後、備前国分寺跡の保存・活用に期待されることはありますか？

全国の国分寺研究では、塔や門など主要伽藍^{がらん}以外に、お寺のまわりにどのような施設（附属施設や生産工房など）があったのかが注目をあつめています。備前国分寺跡でも周辺の様子が知りたいですね。どのような人たちが、どのような活動をしていたのでしょうか。

あとは、備前国分寺跡が、両宮山古墳と合わせて地域の人たちの憩いの場となり、末長く大事にされるような遺跡になってほしいですね。

あとがき

大橋先生には、最新の国府や国分寺に関する研究成果を分かりやすく、説明していただきました。そのなかで、備前国分寺がどうして国府のあった岡山市内ではなく赤磐に建てられたのか、そこに古代赤磐の歴史を考える上での大きなヒントがあるのではと思いました。

赤磐市では今後とも備前国分寺跡の保護と活用を図りながら、備前国分寺跡や両宮山古墳の歴史や意義を分かりやすくお伝えできるような機会を設けてまいりたいと思います。

